

おい、雲

■プログラムの概要

ねらい	雲の変化を観察することで、同じ景色は無く、地球は生きているを感じる。		
キーワード	身近な自然		
対象	幼児		
時間	30分/日 3～5日 (観察なので設定は自由)	実施場所	園庭・ベランダなど
使用するもの	<ul style="list-style-type: none">・カメラ(定点)・プリンター・色画用紙・用紙・のり・色マジック		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入 活動の説明2. 撮影・観察 決めた場所から雲を撮影する。 写真を色画用紙の真ん中に貼る。3. 気づき グループ(4～5人)ごとに気づきを言い合い、出た言葉を1枚の紙に書きとめ、写真のそばに貼る。4. 共有 各グループの意見を発表する。 色画用紙を張り出し、保護者にも見ってもらう。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
10分	<導入> ・活動の説明 同じ場所で雲の写真を撮ることを伝える。同じ雲の写真になるか、違う雲の写真になるか、など考えをきく。	・大人はできるだけ答えを誘導せず、子どもたちに考えさせ、これからの活動に興味を持たせる。 ・みんなから意見を聴きたいこと、他の人の意見を否定しないことについて説明をする。
5分	<撮影・観察> ・決めた場所から雲の撮影をする。 ・写真を色画用紙の真ん中に貼る。	・毎日、同じ場所から撮影する。
10分	<気づき> ・気づきを言い合い、グループ(4~5人)ごとに、出た言葉を1枚の紙に書きとめ、写真のそばに貼っていく。	・色や形など気づきを言う。 ・具体的な形(例えば、動物や食べ物)を想像するとより楽しくなる。 ・気づきにかかる時間は発言の様子で短くしても良い(無駄に長くすると飽きてしまい次につながらない)。
5分	<共有> ・各グループの意見を発表する。	・着眼点をほめる。 ・何日か継続することで同じ雲は無いことの気づきにつなげていく。
	<保護者との共有> ・まとめた色画用紙は、園内に張り出すなどして、保護者にも見てもらうようにする。	・適宜、見出しやコメント等を書き加え、活動内容や子どもたちの様子がわかるようにするとよい。

何日か繰り返す

■使用するもの

物品名	数量	備考
カメラ	1	
プリンター	1	
色画用紙	観測日数分	状況に応じて適切な大きさを選ぶ
用紙	グループに1枚	気づきの言葉を書きとめるために使用
のり	1	
色マジック	1	多色セット

■実施にあたって留意する点

- 必ず同じ場所から撮影する。
- 時間も意識してできるだけ同じ時間帯を活用する。
- どんな意見も肯定的に受け止める。
- 発展型として、小学生を対象に、気象予報などの目的で活用することも可能。

(コロナ禍での工夫)

- 密を避けるため、<気づき>は全体で行わず、グループごとに意見を聞く。ただし、通常より時間を要することとなるので、他のグループの待ち時間に配慮が必要。

•

■参考資料

○まとめ（例）

